

No.	マーク	話のタイトル(関連する場所)	教訓	範囲 以前	江 戸 以前	明治 以前	昭和 以前	関連する災害名等：年
65	6	逆衝竹(愛媛県大洲市)	くに境を越えた地域との対立があった水利利用の歴史を知ること	●				江戸初期洪水：1611～77年頃
66	3	水よけ堀(愛媛県大洲市)	水害に備えた先人の暮らしの知恵に学ぶこと	●				江戸～昭和洪水：1688年以降
67	3	豫州大洲洪水断(愛媛県大洲市)	昔の洪水の記録から、地域の災害特性を知ること	●				文政9年洪水：1826年
68	3	人伝えの情報の大切さ(愛媛県大洲市)	災害時には、普段使える情報伝達手段が使えなくなことも想定すること	●				平成16年台風16号：2004年
69	3	避難用の舟(愛媛県大洲市)	日頃からいざという時のために備えること	●				昭和18年洪水：1943年
70	3	瀬戸内海の津波(愛媛県大洲市)	瀬戸内海域でも津波被害に対して油断しないこと	●				昭和南海地震：1946年
71	3	大谷川の水除け争い(愛媛県伊予市)	河川を統一的に管理することの重要性を知ること	●				昭和元年洪水：1764年
72	6	義民・窪田兵右衛門(愛媛県砥部町)	一身を犠牲にした先人の恩義を忘れぬこと	●				明治8年大干ばつ：1771年
73	3	人名がついた重信川(愛媛県松山市)	川の名前に刻まれた由来を学ぶこと	●				慶長12年：1607年完成
74	3	大川文蔵と石手川改修(愛媛県松山市)	川の特性を見極めた先人の知恵と努力を忘れぬこと	●				享和14年：1729年完成
75	6	高瀬堰の水争い(愛媛県東温市)	上下流の対立の歴史から漏水時の水を分け合う先人の工夫に学ぶこと	●				明治9年干ばつ：1876年
76	3	大崩壊物語(愛媛県東温市)	自然への畏敬の念を忘れぬこと	●				天明～寛政土砂災害：1790年前後
77	3	四度目の成功(愛媛県西条市)	地域の災害時には、住民も協働して、諦めずに最後まで力を尽くすこと	●				昭和25年キタ台風：1950年
78	3	災害弱者の避難を的確に(愛媛県西条市)	災害時には自助、共助、公助の協働で被害を防ぐこと	●				平成16年台風21号：2004年
79	3	地獄に仏のありがたさ(愛媛県新居浜市)	地域を越えた助け合いが被災した人々を支えること	●				平成16年台風21号：2004年
80	3	真つ晴な中の明かり(愛媛県新居浜市)	災害時の明かりは人を元気づけることを知ること	●				明治32年土砂災害：1899年
81	6	山向こうの水をこらに(愛媛県四国中央市)	先人の努力の積み重ねにより得た水利利用の歴史を忘れぬこと	●				安政2年大干ばつ：1855年

愛媛県

私たちが住んでいる地域では
どんな災害があるの？

四国の中でも地域によって
災害の種類が違うのは
なぜ？

水害

土砂災害

地震・津波

高潮

渇水

津波浸水想定
(想定最大規模)

※実際の津波はこの津波浸水想定よりも大きい
場合があります。

地図凡例

JR JR以外 国道 高速道路

1. 生活地図(標)の地図データを使用し、愛媛大学環境防災研究センターからの情報追加及び編集加工した地図データです。
2. 標記の地図情報は、国勢調査と相対する場合があります。あらかじめご了承ください。
3. 四国防災八十八話マップは著作権で保護されています。

発行：徳島大学環境防災研究センター
〒770-8506 徳島県徳島市常三島 2-1
TEL：088-656-8965 FAX：088-656-8017
編集：生活地図 株式会社

出典：国土交通省「国土数値情報(津波浸水想定データ)」
(https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-A40.html)
上記出典を加工して作成いたしました。
出典：香川県危機管理総局(津波浸水想定データ)

No.	マーク	話のタイトル(関連する場所)	教訓	範囲 以前	江 戸 以前	明治 以前	昭和 以前	関連する災害名等：年
72	3	治山治水が大事(香川県観音寺市)	日頃からその地域の治山治水の取り組みを進めること	●				平成16年台風21号：2004年
73	3	土下座の脱得(香川県観音寺市)	自分の経験だけで危険を過小評価することに注意すること	●				平成16年台風21号：2004年
74	3	土砂に埋まった牛(香川県まんのう町)	家畜などの命で奪う土砂災害の恐ろしさを知ること	●				平成16年台風23号：2004年
75	6	四国の水がめ(香川県綾川町)	日頃から金の水を供給する水源地域のことを思うこと	●				平成6年渇水：1994年
76	6	庄屋・久保太郎右衛門(香川県綾川町)	ねばり強く奮闘した先人の苦労を知ること	●				宝永4年完成：1707年
77	6	ひょうげまつり(香川県高松市)	伝統文化に災害にまつわるものがあることを知ること	●				寛文9年完成：1669年
78	6	土びん水(香川県高松市)	災害には大人から子どもまで協力して対応すること	●				昭和14年大干ばつ：1939年
79	6	番水と香桶(香川県高松市)	貴重で少ない水を分け合う先人の知恵に学ぶこと	●				江戸～大正時代まで：1925年まで
80	3	消防だけでは太刀打ちできない(香川県高松市)	被害軽減のため、地域と消防などが連携を図ること	●				平成16年台風16号高潮災害：2004年

香川県



高知県

No.	マーク	話のタイトル(関連する場所)	教訓	範囲 以前	江 戸 以前	明治 以前	昭和 以前	関連する災害名等：年
81	6	堤防が吹っ飛んだ(高知県室戸市)	異常な高波が起こる事態を想定すること	●				平成16年台風23号：2004年
82	3	おれぞね(高知県香美市)	災害時に体の不自由な人たちの避難を考えたこと	●				平成10年高知水害：1998年
83	3	繁藤の豪雨(高知県香美市)	災害現場での二次、三次災害を防ぐこと	●				昭和47年土砂災害：1972年
84	3	結いの文化(高知県大川村)	助け合いの精神が被害を未然に防ぐことに学ぶこと	●				平成16年台風15号：2004年
85	3	避難なんてできやせん(高知県高知市)	被害者に対し安全・安心な避難対応を考えると	●				平成10年高知水害：1998年
86	3	非常事態宣言(高知県高知市)	自分の身は自分で守ること	●				昭和51年台風17号：1976年
87	3	裏山から土石流(高知県いの町)	小さい谷や高い土でも油断せず土砂災害の前兆があれば早めに避難すること	●				昭和50年台風5号：1975年
88	3	寸志夫(高知県土佐市)	「寸志夫」の協働の精神に学ぶこと	●				文政11年洪水：1828年
89	3	寛賢寺地蔵日記(高知県土佐市)	経験則に基づく地震日誌の教訓に学ぶこと	●				安政東海地震：1854年
90	3	先人が残してくれた教訓(高知県土佐市)	過去の災害体験、教訓を生かすこと	●				昭和南海地震：1946年
91	3	弟のおかげ(高知県土佐市)	地震は津波に対し一刻も早く身の動きを遅くすること	●				昭和南海地震：1946年
92	3	みこしの漂流(高知県須崎市)	海上にいったんさらわれたらもう帰ってこない、津波の威力を知ること	●				宝永地震：1707年
93	3	宝永津波死に塚(高知県須崎市)	後世の人々の身を案じた先人の教訓を受け継ぐこと	●				宝永地震、安政南海地震
94	3	長女が津波に奪われた(高知県須崎市)	地震の後は津波に備えて即刻逃げること	●				昭和南海地震：1946年
95	3	突然の激流(高知県四万十市)	不自然な水位の低下には警戒すること	●				明治23年洪水：1890年
96	3	念仏塚(高知県黒潮市)	歴史的な施設の由来を学ぶこと	●				江戸時代の干ばつ
97	3	阿鼻叫喚の夜の避難(高知県四万十市)	災害が夜間に起こったときへの備えをしておくこと	●				昭和11年洪水：1936年
98	3	燃え上がった火の手(高知県四万十市)	地震が発生したら火の始末をすること	●				昭和南海地震：1946年
99	3	おろよ、おろよ(高知県四万十市)	子どもを思う親心に学ぶこと	●				明治23年洪水：1890年
100	3	再起不能か(高知県四万十市)	地震の後はすぐに火の始末をすること	●				昭和南海地震：1946年
101	3	義民・中平宗兵衛(高知県四万十市)	災害のために困窮していた先人の苦労を知ること	●				宝永3年洪水：1704年
102	3	救った人のつながり(高知県土佐清水市)	声かけで犠牲者ゼロにできること	●				平成13年高知西南部豪雨：2001年
103	3	駐在さん、駐在さん(高知県土佐清水市)	まず支援者の避難に力を尽くすこと	●				平成13年高知西南部豪雨：2001年
104	3	驚天動地の津波高(高知県宿毛市)	地震・津波の様子を記した過去の日記に学ぶこと	●				安政南海地震：1854年
105	3	縦曲輪(高知県宿毛市)	重要度の高い地域を守る工夫・知恵に学ぶこと	●				万治元年津洪水：1658年

No.	マーク	話のタイトル(関連する場所)	教訓	範囲 以前	江 戸 以前	明治 以前	昭和 以前	関連する災害名等：年
81	6	八咫の峰くずれ(香川県高松市)	香川県でも南海地震で大被害を受ける危険性を知ること	●				宝永地震：1707年
82	3	小豆島の土砂災害(香川県小豆島町)	災害時には連携をとってお互いに助け合うこと	●				昭和51年台風17号土砂災害：1976年
83	3	おそろしかった3日間(香川県小豆島町)	災害時の基本は逃げること	●				昭和51年台風17号：1976年
84	3	真新しい毛布(香川県小豆島町)	土砂災害で命が失われる悲しさを知っておくこと	●				昭和49年台風9号土砂災害：1974年
85	6	大川二つのため池(香川県さぬき市)	ため池をめぐる人々の思いやりの心を忘れぬこと	●				元禄13年能登池完成：1700年
86	3	まさか三木町に(香川県三木町)	災害時には他人を頼るのにも限界があること	●				昭和62年台風19号：1987年
87	3	電信柱に救われる(香川県さぬき市)	災害時には思わぬことが起きるので、油断しないこと	●				平成16年台風23号：2004年
88	3	真鍮の水(香川県まんのう町)	弘法大師が伝える互助の教訓に学ぶこと	●				宝永5年・承和2年：1774～835年

香川県



徳島県

No.	マーク	話のタイトル(関連する場所)	教訓	範囲 以前	江 戸 以前	明治 以前	昭和 以前	関連する災害名等：年
1	3	吉野川下流域の高地蔵(徳島県吉野川下流域)	洪水の遺産から地域の災害特性を学ぶこと	●				江戸後期～明治にかけた洪水
2	3	蔵珠院の洪水痕跡(徳島県徳島市)	洪水の危険性の高い地域であることを学ぶこと	●				慶応2年寅年の水：1866年
3	3	川賢さん(徳島県徳島市)	歴史的な施設の由来に学ぶこと	●				元文5年頃洪水：1740年頃
4	3	印石(徳島県石井町)	公平な治水をめざした先人の知恵に学ぶこと	●				嘉永4年頃洪水：1851年頃
5	3	愛宕地蔵(徳島県石井町)	洪水の遺産に込められた歴史を学ぶこと	●				明治21年洪水：1888年
6	3	割愛した稲垣監物と監物(徳島県吉野川市)	被害に遭った稲垣監物に学ぶこと	●				宝暦3年頃洪水：1753年頃
7	3	三王神社(徳島県つるぎ町)	私財と命を投げ出した先人の苦労を忘れぬこと	●				明暦二年頃洪水：1656年頃
8	3	日本一の水防竹林(徳島県吉野川中流域)	竹林を防災と産業に活かした先人の知恵や工夫に学ぶこと	●				明治32年洪水：1899年
9	3	浸水時の知恵(徳島県三好市)	洪水から我が家を守る知恵を継承すること	●				昭和29年：1954年
10	6	ひでり続きでほり立つ(徳島県三好市)	地域の人々の協力と知恵で治水を学ぶこと	●				明治～大正の干ばつ：1869年～
11	3	危機一髪(徳島県三好市)	流水の色や音から土石流発生の危険性を察知すること	●				昭和62年：1987年
12	3	百歳石に刻まれた教訓(徳島県徳島市)	南海地震の周期的な発生の教訓、地震・津波の対処法に学ぶこと	●				慶長、宝永、昭和南海地震
13	3	目の当たりにした凄惨(徳島県徳島市)	津波時には、河川の保留物すべてが凶器となることを知ること	●				昭和南海地震：1946年
14	3	お嶋千軒(徳島県徳島市)	昔の伝承を知り前兆があれば、すみやかに避難すること	●				正平地震：1361年、徳島あり
15	3	九死に一生を得る(徳島県徳島市)	津波時には、船に乗る。木や舟が船体になることを知ること	●				昭和南海地震：1946年
16	3	百善数のお寺(徳島県阿南市)	防災拠点と核として地域を守るための知恵・備えを学ぶこと	●				江戸中期以降洪水～
17	3	万代まで継ぐ、万代に(徳島県阿南市)	堤防の建設と維持に費やされた先人の苦労を知ること	●				天明7年洪水：1787年
18	3	豊年の水(徳島県阿南市)	家が壊れても、最後まで生きること諦めること	●				慶応2年寅年の水：1866年
19	3	大水がくる(徳島県阿南市)	災害時のローテク情報伝達方法の有効性を学ぶこと	●				明治25年高知山前豪雨：1892年
20	3	堰をめぐる上下流の争い(徳島県阿南市)	かつては堰めぐり下流の対立が生じるほどの堰があったことを知ること	●				明治25年洪水：1892年
21	3	亡き父の教え(徳島県阿南市)	昔からの住人にその土地で起こった災害について聞いておくこと	●				昭和南海地震：1946年
22	3	地盤沈下の苦しみ(徳島県阿南市)	地震による地盤沈下からの復興に先人が払った苦労を知ること	●				昭和南海地震：1946年
23	3	もどつた おやっさん(徳島県阿南市)	川をせき止めた土砂が崩壊する危険性を知ること	●				明治25年高知山前豪雨：1892年
24	3	あの時すぐ逃げれば(徳島県年報町)	地震時には、身一つで欲を捨て早く逃げる	●				昭和南海地震：1946年
25	3	ごっついぞ(徳島県年報町)	気象情報に注意して台風・高潮への備えを万全にすること	●				昭和9年室戸台風：1934年
26	3	お母ちゃん行けんもん(徳島県海陽町)	津波の避難は、身一つで一刻も早く逃げる	●				昭和南海地震：1946年
27	3	はよう逃げ、はよう逃げ(徳島県海陽町)	津波避難後、数時間は家のものをとりに帰らないこと	●				昭和南海地震：1946年
28	3	両眼からの言い伝え(徳島県海陽町)	体験者の両眼からの教訓に学び次世代に伝えて行くこと	●				昭和南海地震：1946年
29	3	古よりの音響「豊潮記」(徳島県海陽町)	津波に備えた昔人の知恵と工夫に学ぶこと	●				永正、慶長、宝永、昭和南海地震